

「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した割合が高い項目 上位 10 位

分野	項目	「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した割合	満足している割合が高い年代
感染症対策	感染症対策の充実 (新しい生活様式に準じた感染症予防策の周知, 正しい知識の啓発活動, 感染症が発生した場合の迅速な対応, 国・県・医師会との連携など)	56.6%	①20代 ②30代 ③40代
健康・医療	健康づくりの推進 (“歩得”健康商品券事業, いきいき百歳体操, 健康診査やがん検診の受診率向上など)	55.4%	①70代 ②40代 ③60代
観光	観光整備や各イベントの充実 (観光資源のPR, 観光客の創出, 吉備路マラソン・赤米フェスタといったイベントの充実など)	55.1%	①10代 ②40代 ③30代
魅力発信	総社市の魅力を広く伝える (「チュッピー」を活用したプロモーション活動や地域交流, 市の情報発信の充実など)	51.7%	①10代 ②40代 ③20代
防災・減災・消防	防災・減災・消防に関する施策全般について	47.3%	①10代 ②20代 ③50代
健康・医療	健康・医療に関する施策全般について	47.3%	①70代 ②10代 ③40代
防災・減災・消防	災害を受け止める体制の整備 (迅速な情報発信, 実践的な防災訓練の実施, 自主防災組織や消防団員の充実など)	45.2%	①10代 ②40代 ③30代
復興	復興事業の推進 (復興住宅・家賃助成・税の軽減・見守り活動といった継続的な支援, 地域イベント, 被災地の活性化など)	45.2%	①30代 ②40代 ③20代
防災・減災・消防	災害に強い社会基盤の整備 (河川やため池の堤防強化, 道路を始めとする耐震対策, 防災拠点や避難所の整備など)	43.8%	①10代 ②20代 ③40代
自然・環境	自然保護・環境美化活動の充実 (公園や広場の緑化, 景観整備や環境教育の推進, ごみ減量化の取組, 海ごみ・川ごみ対策の普及啓発など)	43.3%	①30代 ②10代 ③20代

「不満である」「どちらかといえば不満である」と回答した割合が高い項目 上位 10 位

分野	項目	「不満である」「どちらかといえば不満である」と回答した割合	不満と感じる割合が高い年代
住宅・都市基盤・公共交通など	公共交通の利便性の向上（雪舟くん、桃太郎線LRT化、JR各線の利便性の強化など）	21.7%	①50代 ②40代 ③20代
健康・医療	医療体制の充実（医療施設の整備と救急搬送体制の充実など）	20.3%	①50代 ②40代 ③60代
住宅・都市基盤・公共交通など	住宅・都市基盤・公共交通などに関する施策全般について	18.4%	①50代 ②60代 ③30代
住宅・都市基盤・公共交通など	都市基盤の整備（河川の改修や道路の整備、生活道の改善、上下水道の整備、治山・治水・砂防事業の推進など）	14.7%	①60代 ②70代 ③30代
住宅・都市基盤・公共交通など	主体的な土地利用の促進（優良農地の確保とバランスの取れた市街化、服部駅・岡山県立大学周辺の活性化、地域の実情に応じた土地利用など）	13.8%	①60代 ②40代 ③20代
住宅・都市基盤・公共交通など	デジタル化の推進（AIやIoT、最新テクノロジーを活用した快適に暮らせる社会の推進など）	12.9%	①30代 ②20代 ③50代
防災・減災・消防	災害に強い社会基盤の整備（河川やため池の堤防強化、道路を始めとする耐震対策、防災拠点や避難所の整備など）	12.0%	①60代 ②70代 ③50代
健康・医療	健康・医療に関する施策全般について	11.1%	①50代 ②40代 ③30代
移住・定住促進	移住・定住を促進（地域と密着した移住支援、空き家の利活用や適正管理、移住者や若者が交流できる居場所づくりなど）	10.3%	①70代 ②60代 ③30代
子育て	保育園等を利用できる環境整備（保育体制の強化、預かり保育・放課後児童クラブの充実など）	9.9%	①30代 ②50代 ③40代

「わからない」と回答した割合が高い項目 上位 10 位

分野	項目	「わからない」と回答した割合	わからないと感じる割合が高い年代
子育て	子ども虐待ゼロのまちの実現(虐待防止の普及・啓発など)	52.8%	①10代 ②20代 ③50代
子育て	支援が必要な家庭と子どもを応援(子どもの貧困対策など)	51.3%	①10代 ②20代 ③50代
ひきこもり支援	ひきこもりの方への支援(社会参加への支援, 居場所の設置, ひきこもりへの理解を深める取組など)	50.9%	①10代 ②20代 ③50代
農林業	農林業に関する施策全般について	50.5%	①10代 ②20代 ③50代
農林業	優良農地の確保(農地の集約化, 担い手の確保, 有害鳥獣の駆除や被害防止など)	47.1%	①10代 ②40代 ③20代
市民参加	多様な性への理解や多文化共生の推進(パートナーシップ宣誓制度の推進, 外国人市民への生活相談や交流の機会の充実など)	44.7%	①10代 ②60代 ③50代
子育て	妊娠・出産への支援(不妊や不育に悩む方の支援, 産前産後の母子の支援, 子宮頸がん検診の推進など)	44.1%	①10代 ②20代 ③70代
広域連携	他の自治体や大学, 民間企業との連携事業の充実(他自治体との取組, 大学生のインターンシップ制度や共同研究の推進, 企業との連携イベントなど)	43.7%	①30代 ②50代 ③60代
学校・幼児教育	特別な支援が必要な子どもへの支援(発達障がい者支援事業の充実, 総社市学習等支援教室の拡充など)	42.1%	①60代 ②50代 ③20代
障がい者・児福祉	障がい者への就労・生活支援の充実(障がい者千五百人雇用事業による支援, 福祉施設を始めとする「終の棲家」の確保など)	41.0%	①10代 ②50代 ③30代

まとめ

「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した割合が高い項目

- ・感染症対策，観光，魅力発信，防災関係については，若い世代の満足度が高いことが目立つ。また，全体の半数が満足だと感じている。
- ・健康や医療に関する施策は，年齢層の高い70代や，働き盛りである40代からの満足度も高い。

「不満である」「どちらかといえば不満である」と回答した割合が高い項目

- ・全体的に，住宅・都市基盤・公共交通や医療体制について不満度が高い。
- ・特に，上位の項目は，40代，50代からの不満度が高い。
- ・「災害に強い社会基盤の整備」では，若い世代は満足度が高いことに対し，50代以降の世代からの不満度は高い。
- ・都市基盤の整備や土地活用についても，60代，70代からの不満度が高い。
- ・「保育園等を利用できる環境整備」は，子育て世代である30代からの不満度が一番高い。

「わからない」と回答した割合が高い項目

- ・全体的に，総社市が推進する「社会的に弱い立場の人への支援」や「子育て王国」に関する施策への関心度，知名度が低い。具体的には，子育てやひきこもり支援，障がい者への支援についての認識が低い。
- ・年代では，10代，20代という若い世代が圧倒的に多い。
- ・「多様な性への理解や多文化共生の推進」や，「特別な支援が必要な子どもへの支援」といった比較的新しく出来た制度については，50代，60代の世代からの関心度の低さも目立つ。
- ・農林業といった専門的な分野での関心度の低さも目立った。